



# WE, JOKERS

英語のジョークを楽しむ会会報

No.47 February 10, 2015

- ジョークの心得三か条:
1. ジョークは心のゆとりであり、人生の潤滑油です。
  2. ジョークで言語の壁に挑むのは知的快感です。
  3. ジョークは簡潔が至上です。



新年のごあいさつ

## 夜と霧とジョーク

代表 宮本 倫好



本年もどうか当クラブで、知的な遊びを満喫して下さい。

私は **Jokedom** におけるユダヤ人の存在に関心が深く、**Israeli Journal of Humor Research** をネットで時折読むのですが、先日、日本語の「過労死」が紹介され、「組織のために死ぬまで働く日本人の自己犠牲はユーモア精神に最も遠い」と書いていました。

ホロコーストを描いた名作『夜と霧』は、ユダヤ人の精神科医ヴィクトール・フランクルが、収容所体験を冷めた筆致で綴ったものです。フランクルは、仲間と毎日義務として、最低一つはジョークを披露し合おうと約束します。残酷な現実から距離を取り、人間本来のユーモア精神を維持しながら、最後の瞬間まで主体的に生き抜こうというのです。

例えばこんな話です。収容所のスープは非常に薄いのですが、底の方に野菜がたまっているので、担当者に媚びを売り、「底の方をお願いします」とつい頼みます。これが口癖になり、釈放されてもパーティでスープが出れば、思わず「底の方を」と言ってしまう…。死の危険が確実な生活の中で、こんな創作話をドイツの敗北で釈放されるまで毎日したのです。さすが、民族誕生以来過酷な運命にさらされてきたユダヤ人ならではの、ですね。

一方、イアン・ブルマ著『戦争の記憶』は、第二次大戦の同盟国ドイツ人と日本人が、敗戦という異常体験をどう受け止めたか、を詳しい調査をもとに述べたものです。ブルマは、戦中は軍人魂、人種的純潔、自己犠牲、規律など、お互いに共通の特質を認め合いながら、戦後は対照的な道を選ぶ両国を鮮やかに対比します。

すなわち、徹底して過去を否定し再出発しようとするドイツ人と、本質は殆ど変わらない日本人に描き分けるのです。

戦中派の末期に属する私など、ドイツにはつい好意を持ち続けていたのですが、この本でドイツ人は、一方的な好意を寄せ続けるそんな日本人が「実にうっとうしい」と書いていたのは意外でした。相手は敗戦を契機に完全に「心変わり」をしていたのに、こちらは変わらぬ心中立てをしていたのですね。

もう一つ。ウォール街が大暴落した1929年には自殺者が大勢出ました。そこで、ニューヨークのダウタウンにあるホテルのフロント係は、チェックインの客に、「ベッドをご利用ですか、それとも窓を？」と聞いたそうです。ブラック・ユーモアに紛らわせるしかなかった過酷な状況下とはいえ、日本人なら、とても出ないせりふですね。

一方わが同胞は進んで苦難を引き受け、死なな

くてもいいのに過労死までするのです。ここらは先のイアン・ブルマがいう「本質的に変わらぬ日本人」です。どうも日本人は外国人から見ると真面目過ぎて、ジョークやユーモアには本質的には不向きなのかも知れませんね。でもこのクラブに関する限り、そんなことは絶対無いはずですよ。

私たちは今年も心にゆとりを、そして唇には笑みを絶やさず、腹立たしいことの多いこの世に、知的に楽しく挑戦しましょう。それでは皆さんのユーモア精神と英語力に乾杯！

(本文は 2015 年「JLC 新年会の代表挨拶」をベースにしたものです。)

## 2014 年年間 MVP

### 表彰式風景

安藤 雅彦 MC

新年恒例の「表笑式」も、去年は初のアルコール抜き dry awarding ceremony となった。これではちと淋しいとの世論におされ、11月の世話人会で中嶋さん提案の新企画が採用された。彼の実行委員長としての見事な仕切りぶりに熱烈感謝。何を隠そう、この企画は財政的に厳しい本会の fundraiser でもあり、ご参加のみなさんには、運営費のご寄付をいただきありがとうございました。



本年は数年来のマンネリ化した「表笑状」をやめ、その代わりに、宝くじは従来の 50% 増しの各 3 枚が贈呈された (但し当日参加しないと貰えません)。会場で佐川さんより配布されたリスト (文末参照) によると、受賞者は延べ 13 人：ジョーク・コンテストの優勝 5 人と大波賞 4 人、研究発表者 4 人。

このうちジョーク・コンテスト優勝の深澤さん

と笠井さん、大波賞の村井さん、それと研究発表の豊田さんは、残念ながら欠席されました。出席の受賞者のみなさんには受賞の弁と今年の抱負・覚悟を伺いました。

まずはジョーク・コンテストですが、ジョ倫 (ジョーク倫理規定管理委員会) がジョークの道徳的水準の低下を防ぐため、審査基準を厳しくしたせいとか、艶笑王の名を誇っていた相原さんが、一昨年は無冠で終わった。しかしさすが実力者、去年は優勝 2 回と見事なカムバックを果たした。2 作品ともに“艶度ゼロ”で、劇的な方向転換でした。共通のテーマは、彼の個人的体験に基づく (?), 男にとって結婚は「大変な企て」であること。今年はどうな新分野で活躍されるのか楽しみです。



植田さんの優勝作品、70 歳の大金持ちが、95 歳と偽って、20 歳の gold digger と結婚。これは「僕の友達の友達で億万長者の奴がさ…」の枕ことばで使いたいジョーク。

本来は笑いのツボが凝っているため、説明なくしてはわかり難いのが大波賞作品。ところが佐川作品はじつに平易で、なぜこれが大波？ 主役の she を金髪女性と特定化してないのが、博愛主義者 (? ) の佐川さんらしい。小中学生でも解るジョークでしょう。



これに対し、出品作が全て自作の岡田さんの大波賞作品は、確かにピンと来ない仕掛け。受賞の弁は、「今年はずますオカシクなくなっていくそう」とのこと。これってどういう意味、岡田さん？

「世に恐ろしきものは妻の沈黙」のパンチ・ラインで男性会員の共感を得たのが熊崎さん。ご本人からは **beginner's luck** との謙虚なコメント。彼女を本会へリクルートしてくれた、日本語の先生仲間の今井さんに感謝。



続く研究発表の部では、「科学技術の進歩にまつわるエピソード その3」で服部さん。このシリーズはいくらでも伸ばせるし、新シリーズもあるとの心強いコメント。彼は **JLC** の至宝です。



「今再び **Headline Jokes**～ジャーナリズムのみだしなみ」の草野さんは、前人未到の5年連続の受賞。今年も是非続編をお願いします。新年の剣道の寒稽古で最高齢皆勤賞を達成されたとのことで、**JLC** も皆勤を目指す覚悟が伺えた。



「コトバデス (**QUOTE VADIS**) ーどこへ行くのかー」の岡田さんはただ一人コンテストとのダブル受賞に輝いた。かれのコメントはあまりにも意味深遠のため、僕には理解不能でした。ごめんなさい。

宝くじ最後の1枚は会に帰属することになり、5千万円が当たった暁には会費を永久にタダにする決議が植田さんより提案され満場一致で採択された。



▲安藤雅彦 MC

## 受賞対象の方々

### A. ジョーク・コンテストの部

#### ●3月－第21回

優勝＝深澤満穂

The best after-dinner speech I like to hear is for someone to say, “OK, waiter, I’ll take the bill.”

大波賞＝佐川光徳 After ordering a whole pizza, she added, “Make sure you cut it in three pieces. I could never eat six.”

#### ●5月－第22回

優勝：植田良明 A seventy-year-old millionaire had married a beautiful 20-year-old. His friend asked, “How did you get such a lovely young wife?” “Easy,” the millionaire replied, “I told her I was 95.”

#### ●7月－第23回

優勝：相原悦夫 I’ve had bad luck with both my wives. The first one left me and the second one didn’t.”

大波賞：村井久美子 ‘Why did the blonde return the puzzle?’ ‘It was broken.’

#### ●9月－第24回

優勝：笠井 進 At the psychologist:  
-My wife does not like that I snore....  
-So what would you like to get rid of, snorting or your wife?

大波賞：岡田茂富 Apparently you have one foot in the grave if you find something striking your fancy and stop buying them thinking how long you might enjoy them.

#### ●11月－第25回

優勝：相原悦夫 ‘Doctor, my husband has a habit of talking in his sleep! What should I

give him to cure it?' 'Give him an opportunity to speak when he is awake.'

大波賞：熊崎清子

There are several types of fear.

1. wife's yelling
2. wife's smirking
3. wife's sigh...
5. above all wife's silence.

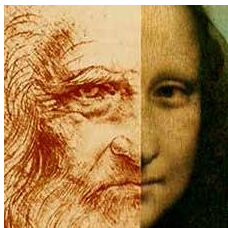
## B. 研究発表の部

●3月－第42回研究発表会

豊田一男「ジョークの中の X-ism (2) – Spoonerism と Wellerism」

●7月－第44回研究発表会

服部陽一「科学技術の進歩にまつわるエピソード – その3」



●9月－第45回研究発表会

草野 淳「今再び Headline Jokes～ジャーナリズムのみだしなみ」

●11月－第46回研究発表会

岡田茂富「コトバデス(QUOTE VADIS) – どこへ行くのかー」

(敬称略)

## WE, JOKERS No.47

英語のジョークを楽しむ会 (Joke-Loving Club) 会報

発行日：2015年2月10日

発行人：世話人代表 宮本倫好

編集人：佐川光徳

問合せ先：[jlweb-renraku@eigojoker.com](mailto:jlweb-renraku@eigojoker.com)

## 第48回研究発表会のご案内

会員各位のご参加をお待ちします。まだ会員になっておられない方もどうぞ。

● 日時：2015年3月21日(土・春分の日)  
14:00～16:00

● 会場：日本近代文学館(2階会議室)  
(東京都目黒区駒場4-3-55、駒場公園内)  
電話：03-3468-4181

● 交通：京王井の頭線「駒場東大前」駅(渋谷駅から二つ目)下車徒歩約7分。地図は、「日本近代文学館」のHPでご検索ください。

● プログラム

総合司会＝豊田一男 会員

① 研究発表

「科学技術の進歩にまつわるエピソード  
その4」服部陽一 会員

② 第26回ジョーク・コンテスト

MC＝小澤正樹 会員 [予定]

参加費：会員・非会員とも1,000円

連絡先：[jlweb-renraku@eigojoker.com](mailto:jlweb-renraku@eigojoker.com)

## 第26回ジョーク・コンテスト出品募集

1. 語数は、30 WORDS を上限とします。
2. 出題数はお一人一題までとします。
3. 出品されるジョークは、かならずしも自作のものである必要はありません。これまでの傾向としては、語数制限や節度規制に合わせて、お気に入りのジョークに手を加えて出品される場合が多いようです。
4. 必要と思われる場合には、注釈・イラスト・写真などを添えてください。
5. コンテストは、2015年3月21日(土・春分の日)の第48回研究発表会で行われます。
6. 結果は、We, Jokers No.48, Joke Contest Supplement 紙上でも発表されます。
7. 当日出席しない方も応募できますが、なるべくご出席をお願いいたします。

● 宛先：[jlweb-renraku@eigojoker.com](mailto:jlweb-renraku@eigojoker.com)

● 締め切り：2015年3月8日(日)